

一級自動車工学科		2023年度		授業計画		
時期	3年D巡	単元	実習	教科名	騒音・振動	
科目	自動車整備作業	教科書等 持参品	シャシ電子制御装置 日産TS2級シャシ（騒音振動編）		発行日	2023年4月1日
総時限	30時限		教科担当	谷森 晋	● ■	
				竹内 司	● ■	
1. 実務経験のある教員による授業科目 該当						
自動車販売会社で自動車整備士として、騒音振動に対する故障診断の実務経験がある教員にて、振動測定機器を使った不具合現象確認～不具合原因の特定までの故障診断の進め方や考え方について指導する。						
2. 教科の目的 （この学科の狙い、目的を明確に記入）						
・車体、トリムから発生している騒音・振動に対してテスターを活用して発生部位を絞り込み、発生箇所を特定できる						
3. 授業の到達目標 （何を理解し何が出来るようになるのか）						
【構造編】騒音・振動を低減するための対策方法を確認、理解する。						
【診断編】診断のために使用する機器の取扱方法を習得する。 適切な診断手順を習得する。						
4. 学習評価 （期末試験での主な試験項目）						
・実習レポート評価 合格基準：70点以上で合格 評価の種類：『優』・『良』・『可』（履修）、『未』（未履修）の4段階で評価 評価基準：80点以上…『優』、70点以上…『良』、70点未満…『未』（未履修） 再試験・判定試験で合格した場合は得点に関係なく…『可』						
＜出題試験項目＞						
1. いろいろな車種において、騒音・振動対策が各部位で、どのようにされているか。 4.所感 2. 各診断機器の取扱方法。 3. 各騒音・振動に対する診断手順と特定方法。						
5. 準備学習						
※ ■ ⇒ 日産資格保持者 ※ ● ⇒ 実務経験がある教員						

一級自動車工学科

2023年度

授業計画

時期	D巡	単元	実習	教科名	騒音・振動
----	----	----	----	-----	-------

7. 安全 (KYのため必ず授業内で説明)

番号	作業名	遵守事項	災害事例	チェック
1	ドアの開閉	・閉める時は、ドア周りに手を添えないようにし、手を離さず最後まで添えて静かにドアを閉める。	・勢いよく手を離して閉めたため他の学生の手を挟んだ。	
2	エンジン始動	・排気ダクトが付いていること、ファンが作動していることを確認した上、周囲に対し、声をかけた後にかけること。	・排気ダクトを付け忘れ、エンジンを始動してしまったため、実習場内に排気ガスが充満してしまい、酸欠状態になった。	
3	リフト操作	・周りの人に聞こえるように大きい声で注意を促し、相手の返事を確認の上操作すること。	・返事がないまま操作したところ車両下部に他の学生が頭をぶつけた。	

8. 授業レイアウト (写真の貼り付けも可)

実習場	座学教室